

事業区分
金銭給付

平成27年度 事務事業評価シート

事務事業名		TASKプロジェクト				所管	文化産業観光部 産業振興課			
事務事業の概要	事業の開始・終了年度		[事業開始]	平成 1 7 年度	[終了予定]	- 年度				
	根拠法令等	その他	[法令等名]	TASKプロジェクト推進に関する協定書						
	事業対象	主にTASK地域(台東、荒川、足立、墨田、葛飾)内の製造業を中心とした中小企業								
	事業目的	企業等の開発意欲や、産学・産産の連携を促進し、区内産業の活性化を図る。								
	事業内容	5区が連携し、TASK地域の製造事業者を中心とした活性化に資する事業を展開する。 ・TASKものづくり大賞(製品開発コンテスト) ・展示販売支援(大手小売店などでの販売の場の提供) ・TASK交流会、工場見学ツアー(事業者等の交流を促進する場の提供)								
	委託の有無	なし	委託内容							
	補助金の有無	なし								
事務事業の実績	種別	指標の名称	(単位)	目標値 (29年度)	24年度	25年度	26年度			
	活動指標	TASKものづくり大賞の実施	回	1	1	1	1			
	成果指標	TASKものづくり大賞の応募件数	件	100	86	84	106			
	決算額	(単位:千円)				1,719	1,703	1,791		
	事務事業コスト	人にかかるコスト(人件費など)				(6,248)	(5,965)	(5,101)		
		物にかかるコスト(物件費・維持補修費)				(400)	(372)	(391)		
		その他のコスト(扶助費・補助費など)				(10,432)	(4,907)	(5,921)		
		総経費				(17,080)	(11,244)	(11,413)		
	財源項目	受益者負担額(使用料・手数料・負担金など)				0	0	0		
		その他特定財源(国や都の支出金・財産収入など)				0	0	0		
一般財源(区負担額)				(17,080)	(11,244)	(11,413)				
前回評価から改善した事項	各事業の成果を検証し事業内容の見直しを図っている。									
評価の視点	評価	評価の理由								
	必要性	3	地域を越えた事業者間連携を促進するために、必要な事業である。							
	効率性	3	5区で共同実施することで、スケールメリットを活かした事業展開が図られている。また、事業成果を検証し、スクラップアンドビルドをしながら、効果的な事業の実施を図っている。							
	手段の適切性	3	類似する産業集積をもつ近隣区が集まり、ものづくり産業の活性化という共通の課題に向けた事業を行っていく体制として、5区の産業振興の組織が事務局となり展開していくことは、適切である。							
	目的達成度	4	TASKものづくり大賞の知名度は、徐々に上がってきており、応募件数は目標値に達している。また、工場見学ツアーや交流会でも、事業者間の新たなつながりが生まれていきている。							
[評価の理由](区民生活への影響を十分考慮すること)					評価結果	今後の方向性	拡大 改善 維持 縮小 廃止・終了			
類似する産業集積をもつ近隣区が集まり、広域的な事業展開ができている事業である。今後も、区域を越えた事業者間の連携を見込むことができる事業であり、維持とする。						維持				